

④9 山形市児童遊戯施設整備事業（べにっこひろば）

受賞機関 山形市

<評価>

幼児から小学生までの子どもとその保護者が安全にのびのびと遊べ、子育て中の保護者が相談や交流のできる機能を持った全天候型児童遊戯施設の整備事業。地域のニーズをくみ取り、子育て支援に資するものとして予想を上回る来場者がある点や、県住宅供給公社の立替施行により市の負担額を平準化した点が評価された。

はじめに

山形市には、冬期間や雨天時に子ども達がのびのびと遊べる屋内施設が少なく、子育て中の保護者から施設の整備について多くの要望があった。これを受け、児童に健全な遊び場を提供し、健康の増進と情操を豊かにすることを目的として、屋内型の児童遊戯施設「べにっこひろば」を整備した。

施設には子育て支援センターを併設し、子育て中の保護者が気軽に集い相談や交流を図る場としても活用されている。

事業の概要・成果

- 敷地面積：24,500㎡
- 建築面積：2,690.18㎡ 木造平屋建て（準耐火建築物）
- 駐車場：普通車200台、バス3台、障がい者用5台

建物には、市産木材を多く使用しており、地元の木の温もり溢れる施設となっている。屋内の「べにっこホール」には、各年齢層に応じた遊具（ボールプール、エアアスレチック、たんけん遊具、ラウンドトランポリン等）を設置し、遊びの大ホール（体育館）、絵本コーナー、休憩室、多目的ルーム等を配置している。



山形市児童遊戯施設「べにっこひろば」

屋外には、「ちゃぷちゃぷ広場（噴水）」「ふわふわどーむ（エア遊具）」「ローラーすべり台」等を設置している。

平成26年12月に屋内施設、平成27年7月に屋外施設がオープンし、以来多くの利用者が来園し、当初想定していた年間18万人を大幅に上回り、平成28年5月末現在の利用者は42万人を超え、盛況を博している。

おわりに

当事業の施行については、山形県住宅供給公社と協定を締結し、施設整備に係る業務のすべてを立替施行の手法で実施し、事業資金も公社の資金を活用することができたため、市では10年割賦返済の債務負担を設定することにより、利子負担の軽減と市の負担額の平準化を図ることができた。

⑤0 旧英国大使館別荘建物復元工事

受賞機関 栃木県 県土整備部 建築課

<評価>

中禅寺湖畔に明治29年に創建され平成20年まで使用されてきた旧英国大使館別荘を、譲渡された栃木県が奥日光の地域資源として建物の柱などを再利用し、明治期の姿に復元した事業。建物の部材を可能な限り再利用して外観も明治期の姿に復元した点や、近代遺産となる周辺施設と連携して歴史文化交流の場としている点が評価された。

はじめに

旧英国大使館別荘は、かつて「夏は外務省が日光に移る」とまで言われた国際避暑地である中禅寺湖畔に、明治29年に建設され、平成20年まで英国大使館の別荘として使用されてきた。平成22年、栃木県へ無償譲渡されたことから、県では、この施設を奥日光の活性化につながる地域資源として活用するため、建物の柱や梁などの部材を可能な限り再利用し、明治期の姿に復元させることとした。

事業の概要・成果

この建物は、築100年以上が経過しており老朽化が著しかったが、既存部材を傷つけないよう手ばらしで解体し、柱や梁等の構造材、床板材、建具、暖炉等の部材を、可能な限り再利用しながら復元を行った。

外観については、壁、屋根とも長年親しまれ愛着のある黒色とした。新緑や紅葉の時期には、湖上から建物を望むと、周囲の樹木を背景に黒色の外観が映え、観光客の目を楽しませてくれるものと期待している。

また、建物の湖に面した広縁からは、戸袋に建具を収め全面開放とすることにより、紅葉の美しい八丁出島をはじ



広縁より中禅寺湖を望む

め、中禅寺湖や奥日光の山々の雄大な自然景観を満喫することができる。

さらには、英国らしさを演出するため、英国大使館から寄贈された家具や調度品を設置するとともに、英国の生活習慣や文化についての理解を深めることができるよう、英国文化交流室を新たに整備した。

おわりに

今後、復元したこの施設を活用し、英国の文化を多くの公園利用者に楽しんでいただくとともに、隣接するイタリア大使館をはじめとする他の近代遺産と連携し、中禅寺湖畔の魅力ある歴史と文化に触れる機会を提供していきたい。